

# かみふら 議会だより

No. 64

2009.10.25発行

題字 上富良野中学校 2年 書道部 宮島 理紗



## 第9回東日本学校吹奏楽大会 中学校コンクール部門金賞の快挙！

第54回北海道吹奏楽コンクールにて

写真提供(株)フォトライフ

### 主な記事

- 出産育児一時金が38万円から42万円に..... P 2
- 第4回臨時会 各会計補正予算可決ほか..... P 3
- 「企業誘致で働く場の確保」など6名の議員が町政を問う..... P 4
- もっと知りたいまちのこと 8「議会の各委員会の改選」..... P 10

## 9月定例会

# 第3回定例会開催される

第3回定例会が9月15日・16日の2日間、開催されました。本定例会では、補正予算、条例の改正、人事案件などが議決され、その他意見書の提出などが発議されました。

## 平成21年度各会計補正予算可決

平成21年度一般会計、国民健康保険特別会計の補正予算を可決しました。これにより平成21年度一般会計予算は、1億7千371万3千円の増額補正をして、予算総額72億9千144万3千円となりました。国民健康保険特別会計予算は、140万7千円の増額補正をして、予算総額14億955万5千円となりました。

## 出産育児一時金が

38万円から42万円に

緊急の少子化対策として、被保険者又は被保険者だったものが、平成21年10月から平成23年3月31日までの間に出産したときに支給する出産育児一時金を一律4万円引き上げ、現行38万円から42万円に改正するものです。平成21年10月1日から施行されました。



第54回北海道吹奏楽コンクールにて

上富良野中学校吹奏楽部が、東日本学校吹奏楽大会に出場することになり、その費用のうち64万4千円を補正予算として可決しました。

## 上富良野中学校吹奏楽部 3年連続東日本大会出場の快挙

## 不燃ゴミ指定袋が 新しくなります

この度、不燃ゴミ指定袋の在庫がなくなることに伴い、差額シール貼付の対応を解消し、町民の利便性向上に寄与するために条例の一部を改正。各家庭にある不燃ゴミ指定袋及び差額シールについては、町が買い取りを行います。なお、今までどおりシール貼付で使用もできます。平成21年10月1日から施行されました。

## 町立病院施設・設備の充実

救急玄関屋根の整備、ベッド更新として補正予算を可決しました。

## 島津公園の整備

公園の立木等移植、池の堆積土砂除去等町民の憩いの場として整備する補正予算を可決しました。

## 上富良野町集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を可決

日新会館屋内運動場の老朽化に伴う施設解体により、屋内運動場を別表から削除する条例が改正されました。

## 上富良野町生活安全推進条例の一部を改正する条例を可決

犯罪被害者等基本法の制定、犯罪被害者等基本計画の策定により、市町村は住民に身近な存在であり、各種保険医療・福祉制度の実施主体であることから、一次的な相談窓口として関係各機関・団体に関する情報提供や橋渡しなどを行う必要があります。町としても町民の安全で安心な地域社会の実現を図ることを目的としていることから、規定の改正を行うものであります。この条例は、平成21年10月1日から施行されました。

## 意見書を国などに提出しました

生活保護の「母子加算」の復活を求める意見書

母子家庭は一般世帯の4割にも満たない収入である。憲法25条の「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」に反するものである。

生活保護の母子加算を復活するよう強く求める内容の意見書を提出しました。

## 人事案件

### 副町長に田浦孝道氏の選任に同意

平成21年9月30日で田浦孝道副町長が任期満了となるため、町長から選任（再任）の同意が求められました。



たうら たかみち  
田浦 孝道氏

昭和44年北海道富良野高等学校を卒業。同年4月より本町役場に勤務し、総務課長、企画財政課長などを歴任し、平成17年10月1日より現職。

### 教育委員会委員に

### 増田修一氏の任命に同意

平成21年9月30日で増田修一委員が任期満了となるため、町長から任命（再任）の同意が求められました。



ますだ しゅういち  
増田 修一氏

昭和44年龍谷大学文学部を卒業。職歴は上富良野高田幼稚園園長など。現在、上富良野の青少年健全育成を進める会会長など。平成17年10月から委員長として現職。

## 第4回臨時会（7月27日開催）

専決処分承認を求める件（平成21年度上富良野町一般会計補正予算（第2号））

8月30日に実施の第45回衆議院議員選挙及び第21回最高裁判所裁判官の国民審査に関する執行経費の補正予算を可決。

平成21年度上富良野町一般会計補正予算（第3号）

補正の概要は、経済危機対策臨時交付金及び公共投資臨時交付金を財源とする事業、女性特有のがん対策事業、緊急的な雇用対策事業の実施に伴う補正予算などを可決。

平成21年度上富良野町水道事業会計補正予算（第1号）

一般会計で国の経済危機対策による臨時交付金により、市街地の簡易舗装の改修を計画しており、老朽水道管の敷設替えを同時に施工することにより、工事費の軽減と繰り返し工事による住民生活への支障を回避しようとする配水管工事費の補正予算を可決。

### その他

財産取得の件（除雪ドーザ）、ヌツカクシ富良野川支流整備工事請負契約締結の件、上富良野町土地開発公社定款の変更の件をそれぞれ可決。



村上 議員

### 企業誘致で働く場の確保と 婚活支援を

### 既存企業拡大で雇用要請、 婚活活動は民間で

**村上議員**

どこの町村も人口減少に歯止めがかからず、特に上富良野駐屯地の問題の方向付けは今年12月が大きな一つの目途である。町長のセールス力と役場に企業誘致班を設置し、例えばアスパラガスの擬葉にルチンの栄養が多く含まれ、粉末に加工すれば食材やサプリメントになることが研究結果で出されているので、粉末工場等企業に働

きかけ、働く場所を確保すれば人口の増加と町の活性化につながるのでは。向山町長 新規企業の誘致は人口の確保に欠かせないと考えるが、大不況の中、企業の投資拡大意欲が縮小しており、誘致条件に高額補助や優遇措置を求められる傾向にある。これらの対応は財政的にも課題であり、現在町内一体で取り組んでいる地産地消を始めとする

地場資源の地元活用や既存の企業・商工業者に対し、事業内容の拡大や雇用拡大の要請を行っていききたい。

**村上議員**

過去に誘致した企業により、多くの雇用や税収増につながって、今日に至っている。これからは土地と建物を提供する等、企業にアタックして雇用の場の確保を。

**向山町長**

活性化は働く場所の確保が一番であり、これに尽きると考えている。資源に恵まれているので、関係団体や色々な

業界に協力いただき、町の資源を経済活動に生かしていけるようなまちづくりのために意を尽くしていく。

**村上議員**

未婚者や晩婚者が増加する中、役場や社会福祉協議会に結婚相談所を設置したり、男女の出会いの場を町民に提供する婚活支援事業に取り組む考えは。

**向山町長**

それぞれの人生を左右するパートナーとの出会いにつながる取り組みは、民間の方々の活動に期待しており行政主導で行う考えはない。農業後継者対策としての出会いの事業については引き続き支援策を講じたい。



40名の従業員が働く、平成元年誘致企業

### 要介護認定基準見直し後と、 障害者認定での軽度と

### 判定された人の再認定を 修正内容を浸透させ介護サビ スを適切にするよう努力する

**村上議員**

4月導入の新しい認定基準では、要介護度が旧基準より軽く認定される傾向にあり、10月から認定方法が変更されることになった。4月現在、在宅319名中、要支援1と2が合計86名と増加している。5月認定調査後、軽度と判定された人が増加していると考えられるので、10月からの修正認定では利用者の声を反映したものにしては

担によりサービス利用の自粛はないか。軽度判定について、再度、認定の見直しを図っては。

**向山町長**

障害者には利用したいサービスを確認しており、また利用者負担は世帯の所得に応じて軽減策があり、サービス利用を控えるケースはない。また、結果が軽くなったケースもなく、再判定の必要性はない。

### その他の質問

Q 新型インフルエンザにより保育所が休止した場合の入所児の危機管理体制を

A 預り保育は泉栄防災センター1・2階をあて、緊急対応体制をとる。

**村上議員** 障害者自立支援法による1割の自己負



米 沢 議 員

## 新型インフルエンザ

### ワクチン接種に公費負担を

幼児、児童生徒に対する

### 公費負担は検討していない

**米沢議員** 新型インフル  
エンザの感染予防対策と、  
幼児、児童、生徒に対す  
るワクチン接種の公費負  
担の考えは。

**向山町長** 新型インフル  
エンザの予防策の住民周  
知については、手洗い、  
うがいや咳などの感染予  
防法及び感染を疑わせる  
症状がある場合の受診方  
法などについては、町広  
報、ホームページ、パン  
フレット配布のほか、個

別相談に応じるなど、周  
知に努めてきている。集  
団感染者発症時の対応に  
ついては、町全体の対応  
方針に基づき、感染拡大  
防止策を講じていく。さ  
らに、保育所の未感染児  
の一時預かりに関する対  
応については、必要性を  
見極めて判断していく。  
また、幼児、児童、生徒  
に対する新型インフルエ  
ンザワクチン接種の公費  
負担の検討はしていない。

## 中茶屋の施設管理の見直しを 運営方法については 選択肢の一つと考えている

**米沢議員** 中茶屋の施設

管理と運営を、商工会か  
ら、宅老所の利用や地元  
の農産物などを販売し、  
地域とつながりの取り組  
みをしているNPO法人  
「たんぼの会」に委託  
をしては。

**向山町長** 中茶屋の運営  
については、商店街への  
集客力を高め、商店街の



たんぼの会が運営する中茶屋

活性化を図る目的で、平  
成16年に商工会が開設し  
たが、職員を常駐させる  
ことが困難になり、協議  
の結果、商工会がNPO  
法人「たんぼの会」に  
施設管理を委託すること  
になり、現在に至ってい  
る。今後の運営方法につ  
いては、商工会から特に  
話もなく、管理者である

商工会から何  
らかの考え方  
が示されれば、  
協議の上、方向  
性が定まった  
段階において、  
運営方法につ  
いては、選択肢  
の一つである  
と考えている。

## 細菌性髄膜炎ワクチン接種に 公費の助成を 考えていない

定期接種による公費助成は

**米沢議員** 細菌性髄膜炎

は、乳幼児がかかる病氣  
で、子供たちの健康を守  
るためにも、ワクチン接  
種を定期接種による公費  
助成の対象にすべきでは

**向山町長** 脳や脊髄を守

る膜に細菌が感染し、炎  
症を起こす細菌性髄膜炎  
の半数以上を占める菌で  
あるヒブから、乳幼児の  
健康を守る上で、ワクチ  
ン接種による予防は、重  
要なことであると認識し  
ている。国内では、希望  
者分のワクチンの確保に  
時間を要している。今後、  
接種対象者の拡大に見合  
う安定した供給体制に課  
題があること、国内にお  
ける安全性、有効性につ  
いても、情報収集や検討  
が必要な段階であるとい  
われており、国の検討状

況や供給状況などの情報  
収集に努める。現在、定  
期接種による公費助成で  
の接種は予定しておらず、  
課題の一つと認識してい  
る。



## その他の質問

Q 高齢者住宅の建設を  
A 「高齢者対応型町営住  
宅」などについては、調  
査、研究を進めたい  
Q マイマイガ対策につ  
いて

A 町が設置管理する外灯  
の新設時や更新時に、  
ナトリウム灯などへの  
転換を進めたい



岩 田 議 員

## 入札に総合評価制度の導入を必要と考え検討を進めている

**岩田議員** 公共事業の入

札に、透明性の確保と公正な市場づくりの観点から、町内に事業所本店の登記があるか、事業実績、ボランティアなどの地域貢献度の評価、雇用者の町民の割合などの点数制度を設定した総合評価制度の導入を。

**向山町長** 公共工事の入

札は仕様を規定し「価格」のみで落札者を決定してきている。公共事業が減少する中で、町においてはダンピング受注等公共



「町の仕事は町の業者で」

工事の品質低下を招くような状況は無いが、今後にも備え、地域貢献度なども評価項目とした「特別簡易型の総合評価制度方式」の採用も必要と考え

町に合った制度のあり方について、検討を進めている。

**岩田議員** 総合評価制度

は、旭川市、鷹栖町、富良野市が導入をしている。町においても、特に町内にはない業種や、町外の業者を指名しなければならぬ事業に対しては、特にこの総合評価制度を導入するべきと考えるが。また、行政と業者の問題ではなく、町全体で「町の仕事は、町の業者で」ということを、町民理解のもとで行うことが、ま

## 意見公募（パブリック

## コメント）の検討過程は

## 慎重に誠意をもって答えていく

**岩田議員** 町民から寄せ

られた意見公募は、課長会議等で協議された形跡が見られないが、町長、職員間でどのような協議が行われ、町の考えを示しているのか。また、検討過程や結果も報告すべ

ちづくりに大きな力になるのでは。

**向山町長** 地域性を考慮

した入札制度は、町にとっても有益だと思う。国の補正予算においても、地域の活性化に配慮するようにとなっている。通常の事業展開の中では制度の導入は地域のためになる。時期に対しては、次年度に向けて、特に広く入札を求めなければならぬ大型事業に対して、総合評価制度の準備を整えたい。

## きでは。

**向山町長** パブリックコ

メントは、町民との情報共有及び町民参画を目指す手法の一つ。町民からいただいたご意見に対する町の考え方の決定方法については、対象案件が

全課に及ぶ場合は課長会議等での意見を参考とするが、個別の案件は担当課等から意見聴取及び協議を重ね、町民の意見を反映させることを基本とし、私自身が最終的に決定し、町の考えを公表している。寄せられたご意見の検討過程については、適切にお知らせするよう

## 上高第2グラウンドの

## 環境整備を早急に

## 適正な管理運営を

## 高校に申し入れる

況は土石が堆積し、雑草が生えやぶ化している。北海道に適正な管理運営の申し入れは。

**向山町長** 教育委員会より、上高に適正な管理を申し入れている。この度土石、雑草、雑木の除去が予算化された。今後も

従来どおり年2回程度の草刈り実施であり、適正に管理運営していただくようお願いしていく。



やぶ化した上高第2グラウンド

**岩田議員** 上高第2グラ

ウンドは、以前、野球部の活動や町の行事等で利用していたが、現在の状

改善していく。

**岩田議員** なぜ、課長会

議等で広く協議されないのか、様々な角度での意見が必要では。町民の意見を汲み取ろうという姿勢が伝わってこない。  
**向山町長** 様々なご意見に対し、誠意をもって答える努力をする。

ガムローズ市との友好交流事業



**和田議員** 国内外交流推進基金は平成元年のふるさと創生資金を原資として積み立てられ、これまで友好都市との交流や児童生徒の派遣等に6千776万円が運用されてきた。この基金をこれまでのように運用していくと、現在、残高の8千500万円の基金が最後に使われるのは20数年後になる。子ども達への教育に対する投資効果があらわれるのは

## 国内外交流推進基金の

### 積極的運用を

長期に渡って

有効活用を図っていく



和田議員

さらに10年から20年後になると考える。もっと有効なまちづくりのために、例えば農業や商業の後継者の国内外研修や町職員の国内外留学などに積極的に運用してはどうか。

数日間の垣間見る派遣も良いが、若者たちに半年か1年の長期の研修でじっくり勉強してもらうことも必要ではないか。人づくりに対する投資は出し惜しみをしてはいけないと思うが。

**向山町長** 国内外の派遣を通じて広く見聞を広め、人材育成に寄与することは極めて重要であるが、昨今の町財政状況が逼迫している現状では基金の追加の積み立ては困難であることから、長期にわたって有効活用を図ることを前提に、これまでと同様に今後も次代を担う小中高生を中心に人材育成事業を展開していきたい。

諸般の事情が許せば若

い人たちに勉強の機会を与えてあげたいが、基金を積み増していく状況にはないので、限られた

基金を長く利用していくことが町民のためになると理解している。

## 町表彰は善行表彰に

### 重きを置くべきでは

表彰させていただく方が

増えることを望んでいる

**和田議員** 町では毎年文化の日に行政の各分野等で功績をあげた人々を表彰しているが、自治功

労表彰、社会貢献賞、勤続表彰は、対象となる人はもれなく表彰されていると思うが、善行表彰は必ずしもそうではないと思う。報酬をいただいている仕事は当たり前であり、公職者に重点を置いた表彰から善行表彰に重きを置いた表彰にしてはどうか。私たちの見えないところで活動を続けている人こそ、もっと称えてあげるべきで、町がボランティア活動にもっと関心を示し、評価を高めるな

**向山町長** 善行表彰については、その善行が町民の模範となる人について表彰しており、行政内部はもとより住民会を始め各関係団体に対しても推薦をお願いしている。また、広く推薦していただけるよう町広報誌を通じて広く推薦をお願いしている。

**和田議員** 町内の清掃・美化や児童・生徒の交通安全支援や観光や環境のボランティア等の人たちこ

そ表彰してはいいのではと考える。公職者に重点を置いた表彰から善行表彰にも、もっと重きを置いた表彰にしてはどうか。

**向山町長** 必ずしも公職者にシフトした表彰の形態との認識は持っていないが、善行表彰はなかなか自薦ということにならないので、普段人目の届かないところでひたむきに頑張っておられる方々を、広く皆さんから推薦いただき表彰させていただく方が増えることを望んでいる。

上富良野町表彰式





中 村 議 員

### 郷土館収蔵品の整理と

### データベース化を

実態を認識し、来年度  
具現化に意を用いたい

**中村議員**

郷土館の管理

運営について、上富良野

町郷土館は昭和53年5月31日に旧役場庁舎を横して建設し開館された。以来31年間を経て、歴史の館としてその使命と目的を果たしているが、次の点について何う。

現在の収蔵物品数は、収蔵物品の管理記録と現物の対査確認は、収蔵物品等が5千点以上と聞くが、資料のデータベース化への考



開館から31年経過した上富良野町郷土館

データベース化への考

えは。

郷土館・開拓記念館と

も来館者が減少しているが、来館者増の具体策は、

**北川教育長**

収蔵物品

のうち、寄贈物品は5千399点、寄託物品は92点、購入物品は126点で、合計で5千617点である。

郷土資料分類内訳台帳

と所蔵カードを作成し管理しているが、台帳と

カード及び現物との対査

確認は会館以来、31年間

は実施していない。

31年間の管理の中で、

収蔵物品の未整理が多く

あることから、データ

ベース化と合せて収蔵物

品の確認と整理が必要と

考え、実施計画の策定と

平成22年度に向って予算

要求をしていきたい。

収蔵物品の資料データ

ベース化と収蔵物品の整

理が終了後に、新たな視

点で対策を講じたい。

町の貴重な財産なので、

しっかり受け継がれてい

くよう努める。

**中村議員**

収蔵物品5千

617点を分類・カード・現

物と対査確認し、データ

ベース化することは膨大

な作業であるが、展示・

収蔵スペースが少ないこ

とから、早急に収蔵物品

の整理とデータベース化

を実施すべきと考えるが、

町長の見解を伺う。

**向山町長**

実態からデー

タベース化が望ましいと

認識している。これを機

会に整理することで、何

とか来年度具現化に意を

用いていきたい。

### 閉校した学校の校旗・校章・

### 校門の管理は

十分な把握なく、

適切な管理に努める

**中村議員**

閉校された小

学校の歴史を語る物品等

の取り扱い。町内の6

小学校が統合・閉校され

たが、それぞれの学校は

地域との深い絆で結ばれ

歩み、卒業生にとっては

思い出の学舎である。各

学校の歴史を語る、校旗・

校章・校門」の状況につ

いて何う。

**北川教育長**

昭和37年に

旭野小学校が上富良野小

学校へ統合してから、創

成・江花・里仁・日新・

清富の各小学校が西小学

校に統合されたが、旧小

学校別の状況は次のとお

りである。

校旗・校章について

旭野小・江花小・創成

小は、統合先のそれぞれ

の小学校に住民会から移

管されたと聞くが、現品

は確認できていない。日

新小は校章のみが日新分

館に、里仁小は校旗のみ

が分館に保存。清富小は

旧校舎の多世代交流セン

ターに保存されている。

校門について

旭野小・江花小・日新

小・里仁小の校門は、そ

れぞれの分館敷地にある

が、歴史がある創成小の

は草分防災センター建設

の際に処分されたと思わ

れる。

**中村議員**

現存の校旗・

校章・校門等の管理と大

正15年12月に建立された

東中尋常高等小学校の校

門についての対策は。

**北川教育長**

確認されて

いる物品等は管理簿を作

成し適切に管理する。東

中尋常高等小学校の校門

は適切な対応を図る。





一 色 議 員

### 共生型基盤整備事業の

### 取扱いは

### 子どもセンターを活用し

### 実施している

**一色議員** 町の市街地に多機能共生型施設の整備を行い、高齢者、障害者、児童がともに支えあい交流する各種事業の活動拠点づくりを行う共生型事業の展開は、地域介護、福祉空間整備等交付金（先進的事業支援特別交付金、国10分の10の補助3千万円）を利用して本格的に取り組んではどうか。

**向山町長** 昨年度、子育て

て支援など通常の事業のほか、高齢者の閉じこもりを防止するための宅老所を実施している。さらに、障害者団体の小規模授産施設として使われていることや、障害を持つ児童の一時預かり場の確保、さらに児童、高齢者、障害者の触れ合いや交流の場を確保するため、地域介護・福祉空間整備推進交付金3千万円の交付を受け、子どもセンター



子どもセンター

施設機能の向上と改修を実施したところである。**一色議員** この共生型事業は、あくまで高齢者とか障害者、または子ども達が各分野の垣根を越えて交流することが主たる目的である。現状では具体的に交流するような場所は非常に少ないのではないかと。高齢者の方も日曜日しか使えない状態である。これから各分野の垣根を越えた取り組みをどのように進めるのか。

### 向山町長

子ども達から高齢者に至るまで、様々な形で共生をしながら暮らすことは、まちづくりを進めるうえでの基本的なことなので、この積み重ねが共につくる町の原動力になると考えている。この事業はスタートしたばかりで十分にその機能を果たしきれていない、魂がまだ十分に入っていないような点は反省しなければならぬ。今後、ソフト事業の展開を進めたい。

### 一色議員

確かに共生型の基盤整備のきつかけができたと思うが、現状では非常に手狭であることと、現在はボランティアに頼っている形であり、実際には具体的にサポートする人たちが充てなければならぬ。

### 向山町長

高齢者と障害者とともに助け合う共生型グループホーム、高齢者・障害児・子ども達が触れ合う地域交流スペースの整備、デイサービスセンターは送迎ではなく、もっと身近な町の中に、例えば空き店舗を利用して歩いて通える場所にするなど、どのように考えているのか。

### 向山町長

障害を持つ方々や高齢の方々が孤立化しないように、町としても特に私の政治課題として弱者に対して特に光を当てて、きちっと目配りをすることを現場に指示している。高齢者の孤立化を防いだり、障害者の社会参加を促したり、確実に一歩一歩前へ進めていく取り組みを町の責任として果たしていかなければならないと考えている。

### 一色議員

泉栄防災センターと西保育園の間にある町有地に多機能型の共生の住宅を整備する考えは。

### 向山町長

子どもセンター等の機能が不足している、拡充して欲しいという強い要望や、在宅機能をもち合わせている中茶屋等についても手狭であるという具体的な要望もなく、そういうニーズが強くあつた段階で方向性を定めたい。



# もっと知りたい まちのこと

No.8

『議会の各委員会の改選』

今回は各委員会を改選しましたので、委員会の取り組みについて取り上げてみました。

## 各常任委員会改選により

### 新メンバー決まる！

第3回定例会（9月16日）において、各常任委員会、議会運営委員会などの構成メンバーを決定しました。

地方自治法第109条第2項及び上富良野町議会委員会条例第7条第1項の規定によるもので、任期は2年です。また、各委員会の所管部署などの見直しのため、委員会条例の一部を改正し、町民生活課税務班（国民健康保険税に関する事項以外）と収納対策担当及び自治推進班に関する事項を総務産建常任委員会の所管とすることが決まりました。

## 総務産建常任委員会



委員長 岩田 浩志  
副委員長 今村 辰義  
委員 西村 昭教、一色 美秀、和田 昭彦、中村 有秀、村上 和子

### 所管事項

- ・総務課の事務に関する事
- ・町民生活課の税務班（国民健康保険税に関する事項を除く）、収納対策担当及び自治推進班の事務に関する事
- ・会計管理者の事務局の事務に関する事
- ・産業振興課の事務に関する事
- ・建設水道課の事務に関する事
- ・選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会及び監査委員の事務に関する事
- ・他の常任委員会の所管に属しない事項

### 委員長あいさつ

委員会の課題は職員との十分な審議の中で情報を共有し、スムーズな委員会運営を目指すとともに、町の大きなテーマとなっている「協働のまちづくり」に向け、委員会としても町民との距離が少しでも縮まり、町民に身近な議会となるよう努めたいと思います。

## 厚生文教常任委員会



委員長 谷 忠  
副委員長 米沢 義英  
委員 岡本 康裕、岩崎 治男、渡部 洋己、佐川 典子、長谷川 德行

### 所管事項

- ・町民生活課の税務班（国民健康保険税に関する事項）、総合窓口班、生活環境班及びクリーンセンターの事務に関する事
- ・保健福祉課の事務に関する事
- ・町立病院の事務に関する事
- ・ラベンダーハイツの事務に関する事
- ・教育委員会の事務に関する事

### 委員長あいさつ

当委員会は教育、福祉、医療、保健といった行政全般にわたる委員会であり、その部門に属するまちの事務に関する調査を行い、議案、陳情等を審査するためのものであると考えています。委員会のあり方に力を注いでいきたいと思っております。

議会運営委員会



委員長 中村 有秀  
副委員長 村上 和子  
委員 岩田 浩志  
谷 忠  
米沢 義英  
渡部 洋己

所管事項

- ・議会の運営に関すること
- ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること
- ・議長の諮問に関すること

委員長あいさつ

町議会運営の改革・改善を進めるとともに、自治基本条例に基づき、「開かれた町議会」を目指し、「議会の説明責任」を果たす意味において、出前委員会・議会報告会の協議を 실시したい。

議会広報特別委員会



委員長 和田 昭彦  
副委員長 佐川 典子  
委員 岡本 康裕  
今村 辰義  
一色 美秀  
長谷川 徳行

所管事項

- ・定例会や臨時会の議案審議及び一般質問並びに委員会活動や議会活動を、町民に広く知っていただくための議会だよりの編集と発行に関すること

委員長あいさつ

定例会終了後、5回の委員会で6人の委員が各員を分担して原稿を書き、レイアウト・原稿校正を行い、1ヶ月余りの日数をかけて発行にこぎつけます。議会広報誌コンクールで、これまで特選1回、入選2回のレベルの高い我が広報誌ですが、このレベルを維持しながら、さらにより良い誌面づくりに努めたいと思います。

議員の福利厚生  
の組織  
上宮良野町議会議員会



会長 岩崎 治男  
副会長 米沢 義英  
理事 一色 美秀  
監事 岡本 康裕  
渡部 洋己

会長あいさつ

町民の為の議員活動であるので、町民のニーズに対応した議員としての行動や議員相互の親睦を図りながらそれらを研鑽したい。

平成19年8月より総務文教・厚生・産業建設の3つの常任委員会を、現在の総務産建常任委員会・厚生文教常任委員会の2つの常任委員会としてから、初めての改選をむかえました。

所管する委員会は、多様化・専門化する行政の事務を合理的・能率的に調査審査し、全議員により選出された事を深く受け止め活動していきます。

# 議会の“窓”

## 町内行政調査・富良野沿線議会議員研修会



研修内容は、富良野広域連合で運営している串内牧場と、現在、南富良野町内に建設中の「富良野農協馬鈴薯加工施設（ポテトチップス工場）」を視察してきました。



10月2日に町内行政調査を実施しました。調査箇所は島津公園や富町団地公営住宅などの現在工事を進めている場所や工事予定場所など、14箇所を調査しました。

公共施設などを調査

町内行政調査を実施

## 議会の動き

- 【7月】
- 27日 第4回臨時会
- 厚生文教常任委員会
- 熊本県菊陽町議会視察来町
- 【8月】
- 30日 富良野広域連合議会第2回臨時会
- 3日 総務産建常任委員会
- 5日 議会運営委員会
- 28日 厚生文教常任委員会
- 2日 総務産建常任委員会
- 3日 議会広報特別委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 全員協議会
- 10日 農作物状況調査
- 14日 第3回定例会（1日目）
- 15日 総務産建常任委員会
- 16日 第3回定例会（2日目）
- 16日 議会広報特別委員会
- 25日 総務産建常任委員会
- 議会広報特別委員会
- 【10月】
- 2日 町内行政調査
- 6日 富良野沿線市町村議会議員研修会（南富良野町）
- 7日 決算特別委員会（1日目）
- 8日 決算特別委員会（2日目）
- 9日 決算特別委員会（3日目）
- 大分県玖珠町議会視察来町
- 14日 議会広報特別委員会
- 15日 総務産建常任委員会
- 19日 議会広報特別委員会

## 随感随筆

「一年を漢字一文字で表す」という某社の企画で、昨年は「変」という漢字でしたが、これは今年への序章でもあったようです。8月の総選挙で、日本は政権交代という大きな変化を選択しました。高い内閣支持率には、どこか変な今の世の中を思いが方向へ変えてもらいたいという国民の目線でマニフェストを實行していつて欲しいものです。

上富良野中学校吹奏楽部が、東日本大会で金賞を受賞したとの朗報が飛び込んできましたので、部員たちの素敵な笑顔を表紙の写真にしました。なお、議会だよりの題字は、これまで同様、上中書道部の皆さんに書いていただくことにしました。印刷のインクの色は四季感を出そうと4色を使い分けてきたのですが、イメージどおりの色が出せなかつたり、鮮明さに欠けるということでした。元の色一色に戻すことになりました。これからは試行錯誤が続きます。今号より委員会の構成が変わり、議員経験の乏しい二人が正副委員長を務めることになりました。よろしくお願いたします。（和田記）



委員長 和田 昭彦  
副委員長 佐川 典子  
委員 岡本 康裕  
" 今村 辰義  
" 一色 美秀  
" 長谷川 徳行

議会の様子を見にきてください！ 次回は12月中旬頃の予定です。